

年 組（ ） 番） 名前

記入日 月 日

編集手帳

「森は海の恋人」というスローガンを有名にしたのは、宮城県で植林活動に取り組んだ漁業家、畠山重篤さんである。著書『漁師さんの森づくり』（講談社）は小中学校の教材にもなった◆森林の土壌に含まれる養分が川を通じて海に注ぎ、プランクトンを育て魚や貝に恵みをもたらす——といった具合に、海にとって森は大事な存在なのである。その間にずかずかと踏み入って恋の邪魔をしてしまったのが人間だろう◆かといって、海を汚して反省しなかったわけではない。下水処理場を作って、きれいな水をどん

どん海に放出した。でも頑張りが過ぎてしまったらしい◆瀬戸内海では水質がきれいになりすぎて、漁獲が減ったという。小魚のエサの海藻や植物プランクトンが育たなくなったためと考えられている。そこで兵庫県は浄化水の基準を見直し、海藻などの栄養となる窒素やリンを処理水に適度に含ませる計画を進めている。「きれいな海から豊かな海へ」と、環境スローガンを転換する◆森の恵みにはかなわないとしても、海にとって付き合いやすい存在になるといい。恋人は無理でも、友だち程度には。

（2021年6月5日 読売新聞朝刊より）

1 記事の中で「恋人同士」と表現されているのは、何と何ですか。

と

2 「頑張りが過ぎてしまった」とありますが、人間はどのようなことを頑張ってきたのですか。記事中の言葉を使って説明しましょう。

3 記事で説明されている「きれいな海」と「豊かな海」の違いを表にまとめました。次の①～⑤はどちらに分けることができますか。

- ① 適度な窒素やリンが含まれている海
- ② 最新の水処理場で不純物を取り除いた海
- ③ 森林の土壌に含まれる養分が含まれた海
- ④ 海藻や植物プランクトンが豊富な海
- ⑤ 現在の瀬戸内海

きれいな海	豊かな海